2017年9月　第2版(新記載要領に基づく改訂)
2014年1月　第1版

医療機器認証番号 ： 226AIBZX00005000

歯科材料　02　歯冠材料
管理医療機器　　歯科用高分子製暫間クラウン及びブリッジ　　JMDN 31783000

トランセン　テンポラリー

【禁忌・禁止】
本品又はメタクリル酸系モノマーに対し、過敏症状の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

ペーストタイプ(C&B)6種類と、シリンジ型タイプ（I&O）3種類がある。

形　状	種　類
円柱状ペースト　C&B	A1、A2、A3、A3.5、B1、B2
シリンジ型タイプ　I&O	青、白、黄

[成分]
ウレタンジメタクリレート、ポリエチレン、二酸化ケイ素

[原理]
光重合によりペースト中のモノマーが重合し、粘性が上がり重合硬化する。

【使用目的又は効果】

永久修復物が完成するまでの間に使用する被覆冠、ブリッジ等の暫間補綴物の作製

【使用方法等】

＜C&Bタイプ（クラウン&ブリッジ)＞

[口腔内直接法]
1. インスツルメント等で必要な分量のペーストを切り取る。硬さを感じた場合は、指でペーストを数回軽く練り、柔らかくすることができる。
2. 切り取ったペーストを支台歯と隣接歯の間のスペースにも確実に埋まるよう、形を整えて挿入する。
3. ペーストを支台歯上で圧接しながら、指かインスツルメントで各面を形成する。
4. 咬合面を印記するため軽く噛ませ、咬合調整を行う。
5. 必要に応じて再度マージン部の調整や隣接面、舌側面等を形成する。
6. 口腔内から一時的に取り外すため、歯科重合照射器で 10 秒間仮重合させる。重合させることにより撤去時の変形を防ぐことができる。
7. 口腔外で、頬側面、隣接面、咬合面、舌側面の各面から歯科重合照射器で20秒間最終重合させる。
8. 技工用カーバイトバーやシリコンポイントなどで形態修正等を行う。
9. 仮着用のセメントで仮着する。

[間接法]
模型上でテックを製作する場合、本品と接触する部分にココアバターを少量塗布した後、口腔内直接法と同様の作業を行う。

＜I&Oタイプ（インレー&アンレー）＞
1. 通法により窩洞形成、覆髄、印象採得を行った後、窩洞を水洗いし乾燥させる。
2. 必要に応じ、マトリックスかウェッジを装着して、インスツルメント等で十分な量を窩洞に充填し形態を付与する。
3. 歯科重合照射器で 20～40 秒間照射する。窩洞が深い場合は、本品を積層し、光重合する。
4. シリコンポイントやスチールバー等で咬合調整、研磨する。

[使用方法に関連する使用上の注意]
1. 過度にペーストを練ると、ベタつくので注意すること。
2. ペーストの付形性などを向上させるためにココアバター等を使用した場合、レジン表面にココアバターが残った状態で追加築成を行うと、充分な接着力が得られないので注意すること。
3. ペーストがアンダーカットに入り込んだまま光照射を行うと、撤去が困難になるので注意すること。
4. 追加築成を行う場合には、気泡が混入しないようにして圧接すること。
5. 付形作業後に残ったペーストは、容器等に戻さず廃棄すること。(長時間光を浴びているため保存できない。)

【使用上の注意】

[使用注意]
1. 本品は光により重合を開始するので、必要量採取後は速やかに容器を密封し遮光すること。
2. 照射器の光量低下は硬化不良の原因となるため、使用前にランプの寿命、照射口の汚れを確認すると共に、光量計で定期的に光量のチェックを行うこと。
3. ユージノール系物質を含まないセメントを使用すること。ユージノールは本品の重合を阻害するおそれがある。

[重要な基本的注意]
1. 本品またはメタクリル酸系モノマーに対し、過敏症状の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. 本品の使用により発疹などの過敏症状が現れた場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 光に当たると不完全な重合をするおそれがあるので、使用後は暗所で保管すること。
2. 高温を避け、10℃～30℃で保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	東京歯科産業株式会社
電話番号	03-3831-0176(代)
製造業者	ネクソバイオ社（NEXOBIO）
国名	韓国